

健康的な給食提供のための調理の学習

Blissful cooking in Baanunairak Learning Center

実施団体名：Neo-Humanist Foundation / Baanunairak Learning Center..
(ネオ・ヒューマニスト財団 / バーンウンラック学習センター)

担当修了生：チンタナ / Ms. Chintana Tungtriratanagul (タイ / 3期)



実施団体概要

主に無国籍の子どもたちを対象に、自分自身に自信をもつことや仲間との協働、道徳、英語、およびタイ教育省が定める基礎教育を教える。ネオ・ヒューマニズムの精神のもと、文化や宗教、人種、国籍を問わずすべての人々、動物、植物、そして地球環境を尊敬し、愛することのできる教育を目指している。学習センターや生徒たちが生活する児童養護施設では、生徒たちが無国籍の状態にあっても、タイ国内の社会で居場所を見つけられるような機会を提供している。

活動地概要

カンチャナブリー県はタイ中部に位置し、サンクラブリー郡の人口は約4.8万人(2019年)。サンクラブリー郡はミャンマーとの国境の街であり、ミャンマーから逃れてきたカレン族、モン族などが多く住む。



事業計画概要

カンチャナブリー県サンクラブリー郡にある身寄りのない子どもたちが生活するバーンウンラック学習センターにおいて、次の取組を通じ、自立に向けた支援を行う。

健康的な給食調理の方法を身につける。そのことを通じて、栄養・衛生管理の重要性、協働への意識を高める。リサイクルやごみの分別などの実用的なスキルを身につけさせる。

活動の目的・ねらい

1. 学習センターにおける健康的な日常生活の質を向上させる。
2. 地域サービスに関わる人々の意識や、所属グループへの帰属意識、生徒間のチームワークの向上を図る。
3. 堆肥づくりの実践的な技術を学ぶとともにリサイクルを通じた環境への配慮を身につける。
4. 生徒が関心のあることを見つけ、それをさらに発展させるための日常的な技術を身につける。
5. 生徒たちが自分自身の価値に気がつき、自尊心を高める。

活動の対象となる学習センターの生徒の多くは、家庭崩壊、親の離婚、売春、親のアルコール依存や薬物依存、家庭内暴力、性的虐待などの理由から、児童養護施設で生活している。生徒たちの中には普通の家庭から通う子どもや、家庭崩壊があっても、親戚や両親と生活している子ども、また、身体もしくは知的障害があつたり、学習のペースが遅れたりすることで、地域の学校でうまく学習をすることができない子どももいる。

ほとんどの子どもたちはタイで生まれているが、困難な家庭環境により、出生届が出ていない、もしくは病院で生まれていないという状況がある。これらの理由から、こういった子どもたちは身分証明をもたず、無国籍となっている。現在政府はゼロ・カードもしくはGカードと呼ばれる特別なカードをこういった人びとに配布しようと試みているが、まだその過程にあり、多くの子どもたちは正式な身分証明を受けていない。これは特に、10代の子どもたちの発達と生活態度に大きな影響を与える。多くの子どもたちが劣等感や人生における選択肢、進学について絶望感を抱く中、私たちの教育は、地域のさまざまな機会の活用を通じて解決策を見つけ、子どもたちに希望や自尊心をもたらすことを目的としている。

実施内容と成果

健康的な給食調理プログラムは、2019年4月に日本からの助成金を受領後に開始した。

はじめにすべてのトレーナーと生徒に対して、プログラムのテーマと目的、プロセス、アセスメントについてオリエンテーションとセミナーを実施した。1年を通じ、次のような活動にとりくんだ。

生徒たちは1グループ10名編成の6つのグループに分かれ、週に5日、農園の管理とベジタリアンランチの用意を担当した。8か月にわたり、8名の教師と60名の生徒のために調理を行った。

一部の生徒たちは野菜やハーブ、スパイスを育てるために農園で活動を行った。生徒たちは当番制でごみの管理や堆肥作りについても学習した。

この事業を通じて参加した生徒たちには以下のような変化があった。

1. 日常的に健康的な食事をとり、調理や食事提供に感謝の気持ちをもてるようになった。
2. 有用な生活技術や仲間と協力することを学んだ。
3. ごみの管理や堆肥作りについても学び、それらを実施する技術を身につけた。
4. 金銭管理の基本的な方法を身につけることができた。

生徒たちは生活技術やチームワーク、対人能力、職業能力、人に奉仕する心を身につけることができた。それと同時に彼らは自分の食事を自分で用意するための調理を通じて、自立した健康的な生活を送ることを学んだ。生徒たちは日常的に健康的な生活を送ることと他人を思いやることの大切さを理解することができた。一部の料理好きの生徒たちは、将来的に調理師として生計をたてることもできると考えられる。

また、このプログラムを通して、生徒たちは責任感を身につけ、シンプルで健康的な生活様式を実現できるようになると考えられる。

健康的な食事を調理するプログラムは、将来的に生徒たちが自身の食生活について意識する力を強化している。生徒たちは担当となる活動を通じて、意識を高め、マインドフルネスの精神を身につける。

このことは、日常生活をより心地よいものとするための準備ができる、自発的な力の獲得にもつながる。生徒たちは責任感をもって最後までやり遂げることで、自分自身を認めることができるようになる。また、調理を終えた後に自分の活動を振り返り、より創造的に健康的な日常生活を維持できるようになるだろう。

※追加報告

2019年度の事業は2020年1月に終了したが、3月以降も生徒たちと調理活動を続けている。新型コロナウイルスの感染拡大により、学習センターは2020年3月9日から閉校している。生徒の多くは児童養護施設で生活しているため、教師たちは各生徒が生活する施設で、個別指導を実施した。生徒たちは、学習センターで習った技術を生かして、施設で生活する他の子どもたちに料理を提供している。

①



教師や生徒のための食事の調理を担当した生徒たち。食事を提供するためのあたたかい気持ちを育むことから始めた。

②



生徒たちに人気のライスヌードル入りのスープ「カノムジーン」を準備している様子。お湯で麺を戻す作業を行っており、この後おいしく完成させることができた。

③



デザート作りのために、とうもろこしをゆでている様子。生徒たちは友達と一緒に、通常の白米から引き出される味わいを楽しんだ。

④



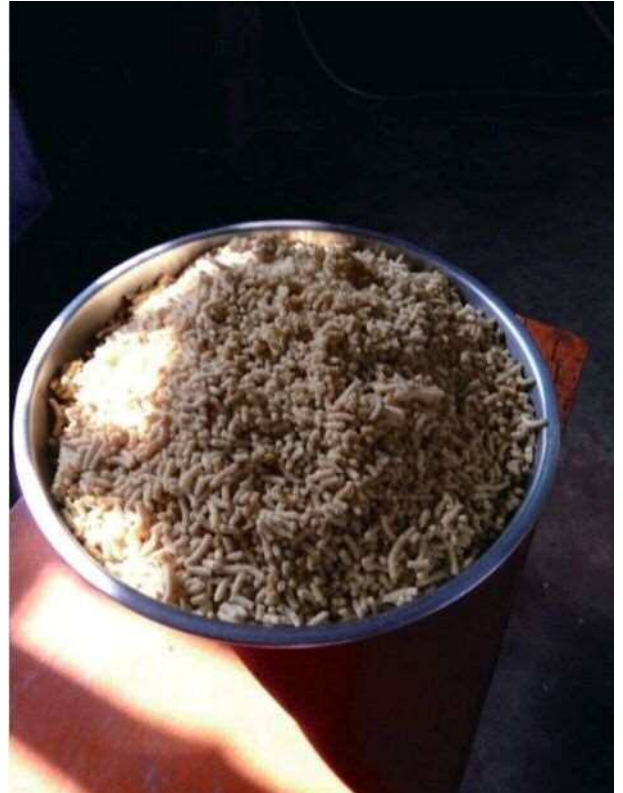
学習センターの教師や生徒たちに提供するライスヌードル入りスープの仕上げを行っている。

⑤



生徒たちが健康を維持するための活力を養い、消化を促進することに加えて、野菜を好きになることができるように、毎回の食事で生野菜サラダを提供した。

⑥



たんぱく質を補う食材について食べ物は人間の活力の源である。また、健康を維持するためにもとても重要である。私たち人間の食べ物は他の生物の生命であり、その選択肢は多く与えられている。私たちは菜食主義者であるため、数ある食べ物の中でも植物のように比較的意識をもたない生物を選択している。肉からたんぱく質を摂取する代わりに、豆やナッツなどからたんぱく質を摂取する。

今後の展望

生徒たちは現代社会で賢い消費者となる方法を学ぶことができるようになると考えられる。

また彼らが日常的に加工食品を控え、健康的な食事をとることの重要性に気がつくことは、より幸福度の高い社会で暮らすことにつながるだろう。

さらにバナナを使用した食品やさまざまな種類のペースト、ピクルスなど、地元の食材を使用した健康的なスナックを作ることや、食品衛生や適切な食品流通、工夫されたおいしい食品など、生活の送る中での小さなことを感じ取るための精神を養うことができるだろう。

高齢者の福祉施設や1年に1度校外学習で訪問する矯正施設で、菜食主義の食事を調理し、提供することもできると考えられる。

収支報告

(1) 収入

項目	金額(円)	内容
全社協からの助成金	310,640	
その他賛助者	374,180	
学校支援	176,500	
合計	861,320	

(2) 支出

項目	金額(円)	内容
食料および材料300日分	310,640	17.26円×60名×300日
台所設備および新しいフロア	374,180	
水道光熱費	35,300	水、ガス
指導員	141,200	70,600円×2名
合計	861,320	

注) 通貨単位：円〔タイバーツ (THB) で提出された報告をもとに円に換算したもの〕
換算レート：1バーツ≒3.53円〔送金日(2019年6月5日)のレート〕